

■内装床の施工

内装床タイルは、主に合板下地に接着剤を用いて、全面接着剤張りで施工します。

接着剤不足は割れやかかけを生じさせる原因となる原因となるため、必ず全面に接着剤が行き渡るよう施工してください。

合板下地で板間の動きが大きくなる恐れがある場合は、施工前に目違いを防止するため補強材を貼り付けます。

■下地適応表

合板	 JIS1 類、根太ピッチ 303mm 以内の場合は 12mm 厚以上、455mm ピッチの場合は 15mm 厚、二重床の場合は 12mm 厚以上を 2 枚張りとしてください。内装床用接着剤をご使用ください。(推奨：タイルメント社 MS フロアー 10)
RC	 圧着施工のため不陸調整を行い、下地精度を $\pm 2\text{mm}/2\text{m}$ としてください。内装床用接着剤をご使用ください。(推奨：タイルメント社 MS フロアー 10)

■下地に関する注意点

下地がコンクリートの場合、コンクリートの硬化や乾燥による影響を受けやすく、仕上がりにも大きく影響します。下地のクラックの発生により、その上のタイルにひびが入ることもあります。

現場打ちコンクリートの場合は特に注意が必要です。

- ①所定の養生期間（最低 3 週間以上）をとる。
- ②施工前に不陸の調整を十分する。

■施工

割付け

- ・原則として左右対称に割付けます。
- ・自然素材でできているため、1 枚 1 枚色ブレがあります。1 度製品を広げてバランスよく配置してください。
- ・壁際の割付けにあたっては寸法等十分になるように気をつけて下さい。

基準線

- ・部屋の長手方向に基準線を墨だして下さい。
- ・基準線に沿ってタイルを丁寧に敷き並べて下さい。

接着剤のクシ目は 5mm クシ目ごてを使用し、しっかり立ててください。クシ目立て後はゴミ、埃の付着に注意してください。接着剤の硬化が始まらないうちに張り終えてください。

下地合板を二重に貼る場合は上下の継ぎ目が合わないよう注意してください。

全面圧着張りのため、下地に不陸があるとそのままタイルの不陸につながる場合があります。ご注意ください。

目地幅は 3mm～5mm を推奨します。

フローリングとの取り合いで段差が生じる場合は見切り材等で調整してください。

■目地詰め

接着剤が完全に硬化した後、目地スペーサーをはずします。

弾性目地材を使用し、目地詰め作業を行ってください。

他部材（フローリング、見切り、ドア枠等）との取り合いはコーキングとしてください。

余分な目地材の拭き取りを行います。

拭き取り時にピンホールや目地不足が生じた場合、直ちに補修を行ってください。

[サイズ実寸法 (mm)] 300×300×12.5

[品番・カラー] ①CO2F300-PL(プレーン)

②CO2F300-GR(グリーンティー)

③CO2F300-CF(コーヒー)



〈お問い合わせ〉

日本エムテクス株式会社
東京都世田谷区駒沢 2-16-18-3F
03-5433-3450 info@nmtecs.jp

